



CS通信

北海道余市養護学校しりべし学園分校
学校運営協議会

令和6年度第2号（通巻8号）

発行：令和6年11月6日

令和6年度第2回学校運営協議会開催！！

令和6年10月4日（金）14時30分より、第2回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）しりべし学園分校部会が開催されました。今年度は第1回から分校単独での開催となり、第2回には4名の委員をお迎えしました。全体会では、第1回の振り返りと、第2回のテーマや熟議についての説明を行い、続いて全教職員が各部会に分かれて熟議を進めました。委員の方々からは、分校の子ども達が目指す姿に向けた活動アイデアや、地域資源の活用に関する貴重なご意見をいただきました。



【委員の皆様：（左から）梁田委員、金石委員、富樫委員（副会長）、藤田委員】

令和6年度第2回学校運営協議会の内容

始めに教頭から、第1回目の振り返りと各学部で協議された、「分校の子どもたちが目指す姿」について、説明がありました。続いて、第2回目の熟議のテーマと協議のポイントについて説明した後、各学部に分かれての熟議が行われました。教職員から挙げられた取り組みたいことや、各委員からいただいたアイデアや御意見を、その場で Google スライド上で場所に関わることや人材に関わることなどに整理しながら協議がすすめられ、共通理解を深めて、活発に意見の交流が行われました。

令和6年度 テーマと内容

子どもたちが生き生きと地域から学ぶために
～地域で育て、地域と歩む、コミュニティ・スクールをめざして～
1 回目（7/22）分校の子どもたちの目指す姿の共有
2 回目（10/4）地域資源マップや地域人材リストに係る熟議と協働
3 回目（2/7）地域資源や地域人材を活用した教育活動の実践発表と熟議

第1回目 のまとめ

学校全体で目指す姿「地域に必要とされ、愛される姿」

小学部で目指す姿「関わりと経験を楽しむ姿」

中学部で目指す姿「頼られ、ほめられる姿」

高等部で目指す姿「その子らしさや良さを発揮する姿」

第2回熟議 テーマ

子どもたちのめざす姿の実現に向けて、黒松内町のどのような地域資源や地域人材とつながり、どのようなことに取り組むか。

熟議の流れ

①教職員から、めざす姿を実現するためにどんなことに取り組みたいか、意見を出す。

②委員から、取組の実現につながる地域資源（施設や自然）や地域人材（人物や活動）を紹介していただく。

③紹介いただいた地域資源や地域人材を表に記入し、教育活動の実践に向けた熟議を深める。

熟議（各部会）について

※協議の中でスライドを作成 ピンク色のスライド:場所や活動などに関わること 青色のスライド:人材や窓口に関わること↓

小学部会：金石委員との意見交流

小学部の熟議では、児童に体験させたい活動について多くの意見が挙がり、金石委員を中心にアイデアの共有が進められました。同年代の児童同士の交流を充実させるためには、町内の各学校の教員同士のつながりを深めることの大切さが挙げられました。また、活動を行う際の移動手段については課題があるものの、黒松内町の地域資源の豊かさを確認することができ、魅力的で具体的なアイデアを共有することができました。



小学部で目指す姿「関わりと経験を楽しむ姿」

取り組みたいこと
「同年代の児童や集団での活動を経験 10人程度でも」

場所
黒小、白小、分校

まずは先生同士のつながり

取り組みたいこと
「黒松内町の自然の中での活動の経験」

場所
場所 プナセンター
自然学校 川遊び、プラトニー牧場

自然学校のスタッフ

取り組みたいこと
「赤ちゃんと触れ合う機会」

場所
分校

全校環境で保健師さんと連携

取り組みたいこと
「お店などの施設利用、マナーの経験、音楽に触れる経験。」

場所
各お店 カフェ

地域の琴奏者の方

取り組みたいこと
「やりたいと思う活動をさせたい」どろんこ

たんば、畑
プラトニー牧場

取り組みたいこと
「福祉施設との交流」

場所
老人ホーム
デイサービス
児童のダンス発表など

湯の里窓口の方

中学部会：富樫委員との意見交流

中学部の熟議では、生徒たちがどのように依頼に応え、主体的に活動を進めるかについて意見が交わされました。特に「相手のニーズに応える」という視点が重視され、中学生の年代に期待する姿として、高齢者との関わりや年下の子どもたちとの交流が挙げられました。これらの場面では、生徒たちが相手のためにできることが多く、双方にとって有意義な体験が生まれる可能性があるとの意見が共有されました。



中学部で目指す姿「頼られ、ほめられる姿」

取り組みたいこと
「依頼を受けてボランティア活動」

場所
独居老人宅
老人ホーム
での除雪や環境整備

社会福祉協議会窓口の方

取り組みたいこと
「異文化交流」
「海外の料理を学ぶ」
「伝統の食べ物を一緒に作る」

場所
分校

外国人の施設職員さん

取り組みたいこと
「異年齢交流でお兄さんお姉さんとして関わる」

場所
老人ホーム
保育園
ぶなっこクラブ
出前音楽隊
職業体験として

各施設窓口の方

取り組みたいこと
「他者のための山菜採りや作物の生育」

場所
デイサービス・施設で野菜売買
学園の畑

まめっこクラブ等食育グループ

協力をお願いできそうな方

・釣りガイドの方
・シェフの方
・キノコ狩りの方
・各ボランティアの方
・プナの森自然学校の外国人留学生

取り組みたいこと
「地域の方々との交流」

地域訪問
不用品回収
※作業学習とのつながりをもって

地域の各家庭

高等部会：藤田委員、梁田委員との意見交流

高等部の熟議では、生徒たちの卒業後の生活に向けた課題が話し合われ、校内では自分の力を発揮できている生徒も、社会に出た際にはその力が必ずしも発揮されない難しさが指摘されました。また、一人での作業が得意な生徒が多い一方で、協働的な活動に慣れていない生徒も多く、在学中にその力をどのように伸ばすかが重要視されました。校外での学習の機会を増やすだけでなく、既存の活動も協働の視点や主体性の視点で改善していく必要があるとの意見が交わされました。



高等部で目指す姿「その子らしさや、よさを発揮する姿」

取り組みたいこと
「お客さんの近くで働く体験の幅をひろげたい」

場所
商店街各店
※アンケートを実施してはどうか

取り組みたいこと
「直接関わって、感謝される体験をしたい」

場所
社会福祉協議会（除雪）
生徒に募集メッセージの作成

社会福祉協議会窓口の方

取り組みたいこと
「協力して作業する体験をしたい」

場所
校内
中学部と協働

黒松内銘水工場での見学や実習

取り組みたいこと
「作業学習で身に付けたことを日頃から校外で発揮したい」

場所
つくし回
各施設

各施設長
開正寺の清掃
開正寺の方

場所
湯の里
リハビリセンター

窓口の方

取り組みたいこと
「学校外の人から評価されたい」
今の関わりを増やしていく
実習時に評価の観点を共通理解

場所
黒松内
温泉

学校長よりまとめのご挨拶

本日は、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。実現可能なこと、難しいことなどございますが、このように様々な意見を交わしていくことが大切だと考えております。ご説明の中にもございましたが、学校が地域に依存するだけではなく、学校と地域が協力し合い、Win-Winの関係を築いていくことが重要と考えております。黒松内町におけるコミュニティ・スクールの推進に向けて努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。【校長 宮岸 尚平】



【編集後記】

御意見や御感想等がありましたら、下記アドレスよりメールにてお知らせください。お待ちしております。
今後も、地域とつながり、学び合う学校をめざしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【E-mail】 yoichiyougoshiribeshi-z0@hokkaido-c.ed.jp